

@ JDBCについて

o JDBC

→ Javaアプリケーションからの接続方法を
まとめたドライバの規格, ライブラリ

→ プログラムの世界とDBの世界の橋渡しをする

→ これがないとプログラムからDBに接続できない

@ SQL文について

◦ コメントアウトの書き方

→ 「/* ~ */」

◦ import文

→ 「import java.sql.*;」

→ "Connection" "Statement" "ResultSet"

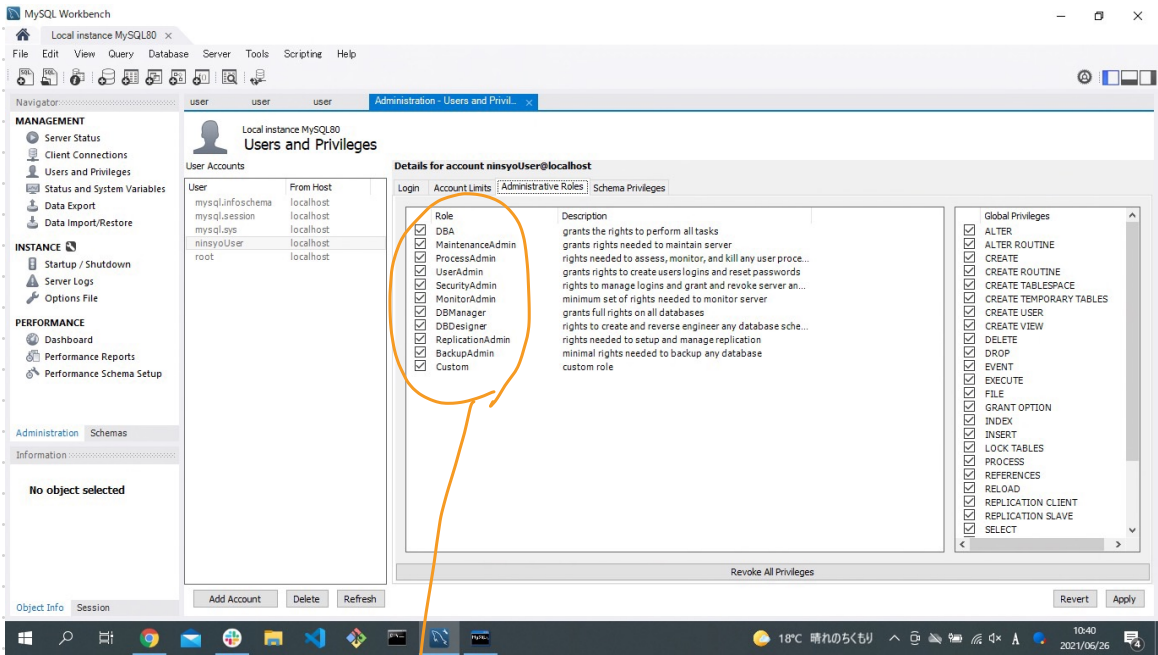
クラスを使うのに必要

• データベースとの接続を担当

• 実行したいSQL文の格納と実行を担当

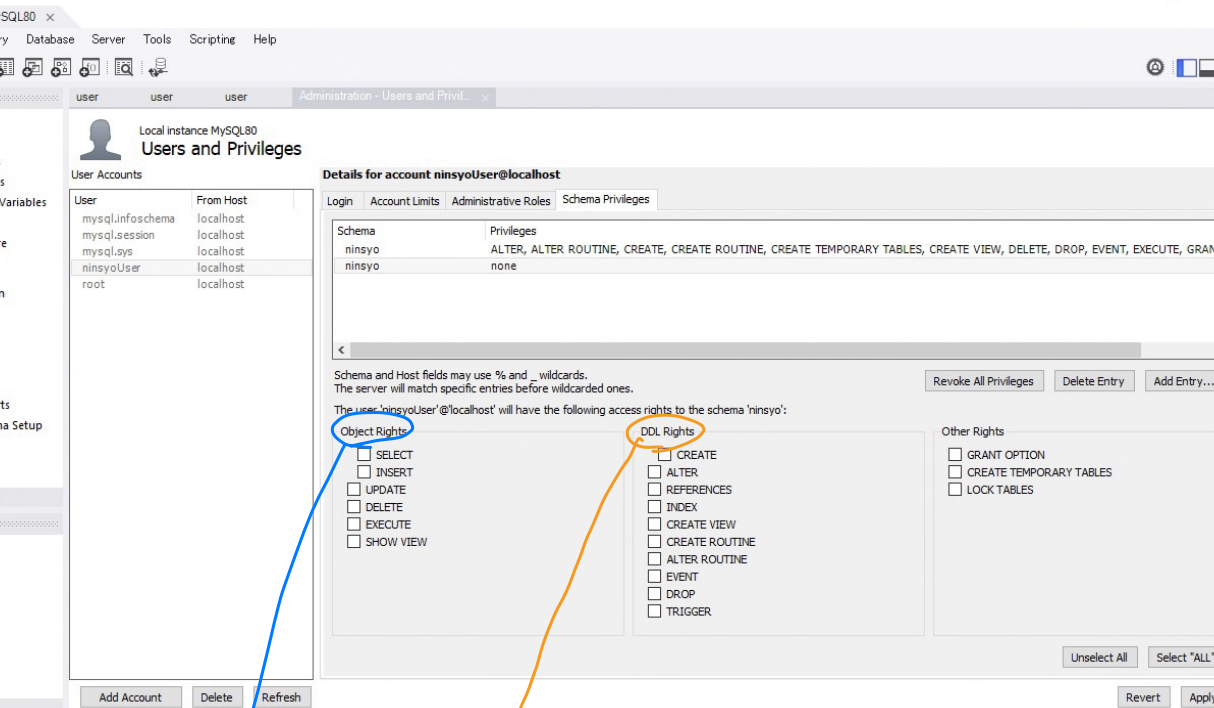
• SQL文の実行結果を格納

① Work bench (ユーザー作成)



[管理者の役割]タブには、次の役割が含まれています。

- DBA : すべてのタスクを実行する権限を付与します。
- MaintenanceAdmin : サーバーを保守する権限を付与します。
- ProcessAdmin : ユーザープロセスを評価、監視、および強制終了する権限を付与します。
- UserAdmin : ユーザーログインを作成し、パスワードをリセットする権限を付与します。
- SecurityAdmin : ログインを管理し、サーバー権限を付与および取り消す権限を付与します。
- MonitorAdmin : サーバーを監視するための最小限の権限を付与します。
- DBManager : すべてのデータベースに完全な権限を付与します。
- DBDesigner : データベーススキーマを作成およびリバースエンジニアリングする権限を付与します。
- ReplicationAdmin : レプリケーションの設定と管理に必要な権限を付与します。
- BackupAdmin : データベースのバックアップに必要な最小限の権限を付与します。
- Custom : ユーザーアカウントに割り当てられているその他の (カスタム) 特権を一覧表示します。この役割は、などのすべてのデフォルトアカウントで使用できるわけではありません root。ユーザーアカウントを選択してから、選択したロールの外部にある1つ以上の特権を直接選択すると、カスタムロールがロールのリストに追加 (および選択) されます。



○クエリなど DB の操作に関する権限の設定

○テーブルなどの作成や削除に
関係した権限の設定

④ 取り組みの流れ

- 先週の指摘箇所の修正
- MySQL, Workbench, Connector/Jのインストール
- サンプルプログラムの作成 (DB接続チェック)
 - webサイトの情報をもとに
 - Tomcat ディレクトリ内に JDBC Test
 - Test用ディレクトリを作成し、
 - DBに登録してあるデータを
 - JSPファイル内で取得できるようにする
 - ブラウザ上でDBの情報を表示できた
 - 元々作成する予定だった context.xml / web.xml
 - test-jsp JSPファイル, DB, テーブルを作成し、
認証システムに 設定 を当てはめたり

- Y-スコード修正

- Javadoc 作成

Q 疑問点

o JNDI について

o session の中身においてログイン画面に
→ ルート相対URLのみ有効なのはなぜ？

o context.xml の <Resource> の詳細

→ • url とは？ テンプレートURLとは？

o Javadoc → controller パッケージの
ファイルが作成できず